

## 平成31年度 努力目標

### 総務部

- 1 総務関係の学校行事を円滑に運営するために、効率的な分担に努める。
- 2 保護者との連携を密にし、PTA活動の充実を図り、教員側の参加も積極的に呼びかけていく。
- 3 地域との交流を推進し、学校のPRに努める。
- 4 円滑な生徒会部活動後援会活動に努める。

### 教務部

- 1 生徒の学力向上を目指し、基礎基本に重点を置いた授業への改善を図る。
  - ① 研究授業等の計画的な実施と、研究授業と研究協議への参加の促進を行う。
  - ② 各種研修会などへの積極的な参加を促すと共に、研修内容を各先生方へ伝達する機会を設ける。
  - ③ 観点別評価の研究を教科ごとに進め、学習指導に役立つ評価の工夫を進める。
  - ④ 年間を通じてシラバスなどで各教科の具体的な到達目標や授業への具体的な取り組みを周知し、生徒の学力向上につなげる。
- 2 資格取得のための学習意欲の高揚を図り、学習の習慣化を図る。
  - ① 資格試験の時期と学校行事等の日程調整を図り、スムーズな資格受験、行事運営ができるように工夫する。
- 3 志願者対策のための広報活動、行事などに力を入れる。
  - ① 魅力ある体験航海、体験入学を計画・実施し、数多くの中学生の参加を促す。
  - ② 「海星だより」「パンフレット」の発行を行い、中学校・中学生への働きかけを積極的に行う。
  - ③ 中学校訪問、学校説明会をとおして、本校の教育内容の理解を促す。

### 生徒指導部

- 1 教職員の共通理解を深め、校内における生徒指導体制の徹底を図る。
- 2 生徒理解の深化を図り、学校生活への適応指導を充実するとともに中途退学者の未然防止に努める。
- 3 基本的生活習慣を涵養する。
  - ① 集団生活における規律・公共心の維持向上に努める。
  - ② 高校生らしい服装・頭髪の徹底を図る。
  - ③ 学校外での問題行動の防止に努める。
- 4 家庭、地域及び関係機関（警察署・中学校等）との連携を密にし、きめ細やかな指導を展開する。

## 5 交通安全指導を充実させる。

- ① 保護者の協力を得て、「4プラス1ない運動」を推進する。
- ② 交通安全指導を行い、自転車事故、自転車盗難の発生未然防止に努める。

## 進路指導部

- 1 生徒の個々の進路希望の実現を達成するために、早期からの進路開拓を図り、特に地元企業の開拓に力を注ぐことで、本校での学習活動やその専門性を生かせる進路開拓を目指します。
  - ① 昨年度卒業生の就業する企業および実績のある企業への訪問
  - ② 新規企業(県外企業も含む)の開拓
- 2 全学年において職場見学やインターンシップを積極的に実施することで、職業観の高揚と社会性の修得を図り、生徒自身が研鑽できる機会を多く与える。
- 3 進学希望者、就職希望者を対象とした勉強会や若年者卒業生による就職講話、低学年を対象とした進路ガイダンスなど、計画性を持って企画運営にあたる。
- 4 関係機関(県教育委員会・いわき市商業労政課・公共職業安定所)との連絡調整を確実に行い、連携を深めることでさまざまな進路指導に関わる事業が円滑に進むよう努める。

## 図書視聴覚部

- 1 新入生オリエンテーション等を通じて、図書館の利用促進、読書意欲の高揚を図る
- 2 2021年の統合を視野に入れた図書の整理・選定を行う
- 3 公共の場としての図書館における利用マナー指導を徹底する
- 4 図書資料の提供による教科への支援の充実に努める

## 保健厚生部

- 1. 健康で環境衛生に興味、関心を持つことができるよう保健衛生活動の工夫に努める。
- 2. 健康で安全な学校生活ができるよう基本的な生活習慣を身につけさせる。
- 3. 生徒や教職員の健康課題を把握し、解決に向けた健康教育を推進する。
- 4. 怪我や病気などの処置や心身の健康に問題を有する生徒の保健指導等ができるようになる。
- 5. 教室や廊下等の清掃を徹底させ、学校内外の環境美化に努める。

## 防災部

- 1 避難訓練での安全確保と所要時間の短縮をする。
- 2 防火診断を年2回実施し、年間を通して防火意識を継続させる。
- 3 防災の情報収集に努め、生徒の安全確保を図る。
- 4 危機管理マニュアルの周知を行う。

## 5 防火管理日誌の適正な活用を検討する。

### 専務部

#### 1 指導の徹底を図る。

教職員の共通理解を深め、統一的な指導を実践する。

担任、保護者との連絡を密にし、指導効果の向上に努める。

#### 2 寮内の美化に努める。

寮生による自動的な活動を基調として日頃からの美化に努めさせる

#### 3 規則正しい生活習慣の涵養及び規範意識の向上に努める。

規則の遵守と学ぶ習慣の定着、挨拶の励行を徹底する。

特別指導者の発生を撲滅する。

#### 4 防災体制及び不審者侵入対策の強化をする。

### 水産教育部

#### 1 各種研修会等を活用し、水産・海洋関連業界及びその他関連産業界の連携深め、生徒の発表会を公開するなど、水産の魅力を広めることのできる活動を通じて、地域への水産教育に対する理解、認知を高める。

#### 2 水産・海洋教育に関する各種大会を活用し、生徒の水産に対する関心意欲の向上、校内の水産・海洋教育の充実を図る。

#### 3 校内ネットワークの管理、整備、保守、必要な情報伝達、そして情報に関する校内研修の充実などを通じて情報教育の推進に努める。

#### 4 ホームページの更新及び学校 P R D V D 作成により、地域への情報発信に努める。

### 生徒会

#### 1. 生徒会活動の活性化と生徒の自発性を高める。

① 生徒会役員の自発的活動の支援

② 生徒会行事の充実と活性化

#### 2. 地域、他校との交流を深める。

地域や他高校との交流を深め、生徒会活動がより活発になるように努める。

### 実習船運営部

#### 1 安全で円滑な航海実習計画の立案と協議

#### 2 効果的な実習船教育のあり方の研究と実践

#### 3 船内環境の整備

#### 4 福島丸の P R

#### 5 船員の確保と県への働きかけ

## 海洋科

- 1 海洋、船舶、水産に関する基礎的・基本的事項の定着を図り、それらの分野での有意義な人材を育てる。
  - ・小単元テストを行い、知識の定着を図る。
  - ・各実習において、内容・目標を確認させ、実習効果を上げ、知識・技術の定着を図る。
  - ・観点別評価表を活用し、学習指導に役立てる。
- 2 授業や実習を通して、集団生活・健康管理等の重要性を理解させ、社会に寄与できる人材を育てる。
  - ・時間厳守の指導に力を入れる。
  - ・季節や作業内容にあった服装の徹底をさせる。
  - ・安全第一と集団行動をいつも心がけさせ、自分勝手な行動をとらせない。
- 3 専門分野における各種資格取得を奨励し、各分野における専門職となる人材を育て、常に上級の資格を目指す意欲を持たせる。
  - ・本科3年生の四級海技士合格を70%、専攻科生の三級海技士の合格率70%を目指す。
  - ・二級小型船舶合格率100%を目指す。
  - ・水産海洋技術検定、漁業技術検定、潜水技術検定試験、海洋情報技術検定合格率100%を目指す。
- 4 志願者対策、進路指導の充実を図る。
  - ・小中学生を対象とした、学校開放講座や出前授業の推進を図る。
  - ・インターンシップについて生徒に理解させるとともに、積極的な参加を促す。

## 食品システム科

- 1 地域における広報活動を進める。
  - ① 中学生体験入学の内容を、分かりやすく、中学生の興味・関心に応えるものに改善・改良していく。
  - ② イベントやコンクールに参加することで、学科の存在と特徴をアピールする。
- 2 食品のあらゆる分野で活躍できる能力と意欲を育成する。
  - ① 実習・実験を通して、食品のあらゆる分野で活躍できる能力と意欲を育成する。
  - ② 地場産の原材料を利用しながら、地場産業の発展に寄与できる能力と意欲を育成する。
- 3 専門性を生かした進路を実現させる。
  - ① 資格取得に挑戦する意欲を喚起させ、補習により資格取得を助ける。
  - ② 企業見学やインターンシップを体験することで、進路意識を向上させる。

## 情報通信科

- 1 時代の変化に対応した魅力ある情報通信科の教育体制を確立する。

- ・ふくしまイノベーションコース構想への積極的な参画を通して、未来志向の魅力ある教育環境を整え、生徒主体の創造性豊かな探究活動を実現し、思考力や判断力を養い、夢や希望を自己実現できる生徒を育成する。
- 2 情報通信科の根幹である無線従事者養成機関として、産業界から求められる上級国家資格取得者を今後も確実に育成する。
- ・無線従事者国家資格受験対策補習を通年を通して実施する。
- 3 基本的な生活習慣と生活態度の涵養を図り、道徳心を持つ社会性豊かな人間を育成し、個々の生徒の進路実現 100%を目指す。
- ・学校生活の全ての場面で生徒たちと真摯に向き合い、産業社会を担う有意な人材を育成するために将来を見据えた生徒指導を行なう。
  - ・企業との繋がりや開拓を進める。
  - ・資格を生かせる企業の新たな把握、研究に努める。
- 4 地域への広報活動を積極的に行ない学科の理解と認識を得る。
- ・魅力ある学科作りに努め、学校HPや開放講座などで積極的に発信する。
  - ・イノベ人材育成事業の成果や研究活動を地域に発信する。
- 5 適切な学習評価と計画的、継続的な学習指導により学力の向上を図る。
- ・学習進度の評価指針として情報通信科の評価ルーブリックを確立する。
  - ・実習と座学の関連付けを強化し学力の定着を図る。
  - ・ICTや先端実習教材を効果的に活用した授業を実践する。

#### 海洋工学科

- 1 学科への理解と認識を得るために取り組みを積極的に行い、入学者の確保・増加を図る。
- ① 体験入学の講座内容の改善・工夫を図り、内容を充実させる。
  - ② 学科案内用パンフレット・HPの作成（校正・内容充実）などによって各部と連携しながら中学校への積極的な働きかけを行う。
  - ③ 地域社会との連携・交流事業の促進
- 2 入学した生徒の希望と夢を育み、生きる力を養い、自ら学び夢を実現するための魅力ある授業の実践に努めるとともに、勝てる生徒の育成。
- ① 基本的生活習慣の確立、個に応じた生活指導・学習指導の徹底（基礎学力の定着）
  - ② 生徒の実態（進路）に応じた教育課程・教育内容の展開
  - ③ 教材研究、教員の意識の改革のための取組み
  - ④ 乗船実習における指導内容の検討（訓練記録簿の指導、点検を含む）
- 3 産業・社会構造の変化に対応し、生徒の夢を実現するため積極的に資格取得にチャレンジさせ、海技士、及び機械工学系のプロフェッショナルの育成を図る。
- ① 生徒へチャレンジ精神の動機付け

- ② 個々の授業内容の充実および資格指導の徹底
  - ③ 補習授業担当者の位置付けと計画的な補習授業の実施
- 4 学科の教育目標、教育内容に関連した進路実現のための進路指導と進路開拓を図る。
- ① 早期（入学時）からの進路意識の確立と進路指導の徹底を図るため、学科集会等を積極的に実施する。
  - ② 就職希望者全員に対してインターンシップ（企業見学会を含む）を実施する。
  - ③ 企業訪問等を通じて産業界の求める人材の情報収集や、求人動向を早期に把握し生徒の進路実現につなげる。
  - ④ 上級学校進学を希望する生徒に対し普通教科と連携を密にしながら水産・海洋系国公大学への合格を目指す。

### 1学年

- 1 基本的生活態度の定着を図り、社会人として必要なマナーを身につけさせる。
  - ① 時間を守り、教室の整理整頓を心掛けさせる。
  - ② 清潔感のある頭髪・服装を心掛けさせる。
  - ③ 言葉遣いに注意し、話を聞く態度を身につけさせる。
- 2 基礎学力の定着を図る。
  - ① ワークブックの活用と校内検定の実施等により基礎学力を向上させる。
  - ② 授業に臨む態度を良くし、知識・技能を身につけさせる。
- 3 進路意識の向上を図る。
  - ① インターンシップを有効に活用する。
  - ② 総合的な探求の時間等によりコミュニケーション能力を向上させる。

### 2学年

- 1 基本的生活態度の定着を図り、社会人として必要なマナーを身につけさせる。
  - ① 時間を守り、教室の整理整頓を心掛けさせる。
  - ② 清潔感のある頭髪・服装を心掛けさせる。
  - ③ 言葉遣いに注意し、話を聞く態度を身につけさせる。
- 2 基礎学力の定着を図る。
  - ① ワークブックの活用と校内検定の実施等により基礎学力を向上させる。
  - ② 授業に臨む態度を良くし、知識・技能を身につけさせる。
- 3 進路意識の向上を図る。
  - ① インターンシップを有効に活用する。
  - ② 総合的な探求の時間等によりコミュニケーション能力を向上させる。

### 3学年

- 1 最上級生としての自覚を持たせ、基本的生活習慣の定着を図り、社会人として必要なコミュニケーション能力、積極性・主体性、協調性、チャレンジ精神を身につけさせる。
  - ① 時間を守り、教室、身の周りの整理整頓を心掛けさせる。
  - ② 頭髪・服装をきちんとし、挨拶・言葉遣いに注意をし、話を聞く態度を身に付けさせる。
- 2 日々の授業を大切にする姿勢を身に付けさせ、基礎学力の向上に加え、専門教科の学習に意欲的に取り組ませる。
  - ① 進路実現に向けての基礎学力の向上と就職試験への対策を意識させる。
  - ② 資格取得が進路実現に結びつくことを理解させ、授業に臨む態度、知識理解の定着の向上を図る。
- 3 進路希望を早期に決定させ、就職、進学の準備を早くから行い、生徒への意識付けをし、年度内の進路決定 100%を目指す